

大分県大分市中心市街地における公共空間の利活用実態と利活用継続の要件 —地方都市における公共空間利活用の促進に関する研究 その1—

正会員○轟 梨佳*¹ 同 姫野 由香*² 同 太田 裕喜*¹ 準会員 指方 綾乃*³

7.都市計画—3. 市街地の変容と都市・地域の再生—e.都市再生

公共空間 中心市街地 利活用

1. 研究の背景と目的

近年、都市の魅力を高めて、賑わいを創出するために、道路を開放したオープンカフェやイベント等、地域資源である公共空間の活用に注目が集まっている。このようなまちづくりを支える仕組みとして、公共空間の利活用を促す制度や新しい運営手法が議論されている¹⁾。それに伴い、公共空間の利活用の自由度を拡張する規制緩和の動向が確認できる。例えば、民間事業者の投資を誘導することで、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上を図る「公募設置管理許可制度(Park-PFI)」(2017年)がある。これにより、今後、資金面や管理運営面において、官民が連携しながら公共空間を活用した地域づくりが拡大していくと考えられる²⁾。

一方、人口減少に伴い、税収の落ち込みが進む地方都市において、公共空間は既存ストックとして蓄積されている。そのため、新たな公共空間を整備するだけではなく、既存の公共空間を有効活用することが求められている³⁾。

大分市中心市街地の都市空間は、平成20年頃から、公共空間における空間構成要素に関する事業^{注1)}が実施されるなど、その様相が大きく変化しつつある^{注2)}。

そこで、本研究では、大分市中心市街地に立地する公共空間(図1)を対象とし、どのような公共空間が、どのように利活用されているかを把握する。そして、官民が連携して公共空間を継続的に利活用している事例に着目し、空間の利活用の変容や運営の実態を明らかにする。これにより、今後の公共空間利活用の促進に資する知見を得ることを目的とする。

2. 研究方法と研究対象

2-1 研究方法

本稿その1では、利活用が行われた公共空間の特性を、形状及び周辺建物との関係性の視点から分類し、そ

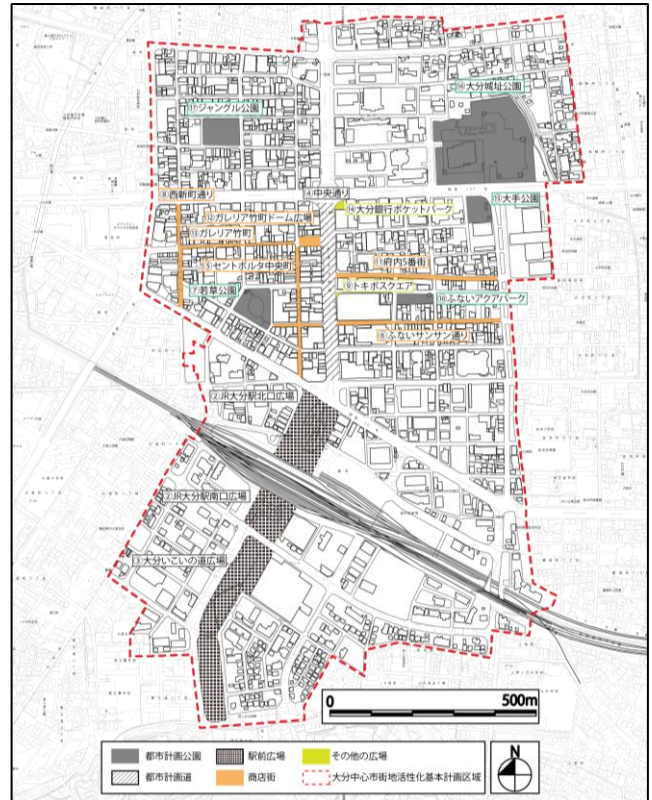


図1 大分市中心市街地における公共空間の分布

れらの公共空間の利活用傾向を把握する(3章)。

さらに、公共空間が、継続的に利活用されている事例に着目し、会場レイアウトや利活用団体の変遷を分析する(4章)。

これにより、大分市中心市街地における公共空間利活用を促進するための要件を明らかにする(5章)。

2-2 研究対象

本研究の「公共空間」の定義は、市所有の都市計画公園及び駅前広場等で、歩行者に開放された公共性の高い空間とする⁴⁾。さらに、まちなかの賑わい創出に寄与する商店街や通りも、都市アメニティに資する公共性の高い空間として加えた。また「利活用」の定義は、イベント開催やにぎわい形成等、仮設的な空間活用により、空間の価値を高める取り組みとする⁵⁾。

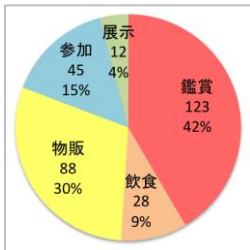
以上の定義に基づき、大分市中心市街地の公共空間で実施されているイベント事例を収集した^{注3)}。

3. 大分市中心市街地における公共空間の利活用実態

3-1 大分市中心市街地からみる公共空間利活用の傾向

大分市中心市街地における、公共空間の利活用用途の傾向を表1に示す5つの用途に分け、集計した(図2)。

図2より、「鑑賞型イベント」「参加型イベント」「展示型イベント」が全体の約6割を占めている。これより、大分市中心市街地の公共空間では、購買活動を伴わないイベントが比較的多く実施されていることが分かる。



そのなかでも、「鑑賞型イベント」が42%と最多である。中心市街地に賑わいを創出する手法として、「鑑賞型イベント」が、最も多く実施されていると推察できる。

3-2 空間特性の分類

公共空間の敷地幅員の縦横比により、各公共空間の形状を分類した(図3)。最も多い縦横比率10.7%以下の公共空間を基準に、縦横比率10.7%以下の公共空間

表1 利活用用途の分類

利活用用途	定義
鑑賞型イベント	主催側が披露する演出を鑑賞するイベント 例)ライブ、パフォーマンス
飲食型イベント	屋台等その場で作り、飲食物の販売を行うイベント 例)肉祭り
物販型イベント	雑貨や食品等の販売を行うイベント 例)バザー、マルシェ、祭りの縁日、ワゴンセール
参加型イベント	一般客の能動的な参加によるイベント 例)ワークショップ、セミナー、じゃんけん大会
展示型イベント	作品や商品等を陳列し、展示するイベント 例)工作展

表2 空間特性と利活用用途の関係

区分	【タイプA】 半屋外の広場的空間	【タイプB】 屋外の広場的空間	【タイプC】 半屋外の通りの空間	【タイプD】 屋外の通りの空間																																																
公共空間	②JR大分駅北口広場 ⑨トキボスクエア ⑫ガレリア竹町ドーム広場	①大分駅南口広場 ③大分いこの広場 ⑦若草公園 ⑩ふないアクアパーク ⑭大分銀行ポケットパーク ⑮大手公園 ⑯大分城址公園 ⑰ジャングル公園	⑤セントポルタ中央町 ⑬ガレリア竹町	④中央通り ⑥ふないサンサン通り ⑧西新町通り ⑪府内5番街																																																
空間形状																																																				
利活用用途項目	<table border="1"> <tr><th>用途</th><th>回数</th></tr> <tr><td>鑑賞</td><td>51</td></tr> <tr><td>飲食</td><td>5</td></tr> <tr><td>物販</td><td>23</td></tr> <tr><td>参加</td><td>28</td></tr> <tr><td>展示</td><td>5</td></tr> </table>	用途	回数	鑑賞	51	飲食	5	物販	23	参加	28	展示	5	<table border="1"> <tr><th>用途</th><th>回数</th></tr> <tr><td>鑑賞</td><td>25</td></tr> <tr><td>飲食</td><td>16</td></tr> <tr><td>物販</td><td>14</td></tr> <tr><td>参加</td><td>8</td></tr> <tr><td>展示</td><td>4</td></tr> </table>	用途	回数	鑑賞	25	飲食	16	物販	14	参加	8	展示	4	<table border="1"> <tr><th>用途</th><th>回数</th></tr> <tr><td>鑑賞</td><td>27</td></tr> <tr><td>飲食</td><td>0</td></tr> <tr><td>物販</td><td>49</td></tr> <tr><td>参加</td><td>4</td></tr> <tr><td>展示</td><td>1</td></tr> </table>	用途	回数	鑑賞	27	飲食	0	物販	49	参加	4	展示	1	<table border="1"> <tr><th>用途</th><th>回数</th></tr> <tr><td>鑑賞</td><td>20</td></tr> <tr><td>飲食</td><td>7</td></tr> <tr><td>物販</td><td>2</td></tr> <tr><td>参加</td><td>5</td></tr> <tr><td>展示</td><td>2</td></tr> </table>	用途	回数	鑑賞	20	飲食	7	物販	2	参加	5	展示	2
用途	回数																																																			
鑑賞	51																																																			
飲食	5																																																			
物販	23																																																			
参加	28																																																			
展示	5																																																			
用途	回数																																																			
鑑賞	25																																																			
飲食	16																																																			
物販	14																																																			
参加	8																																																			
展示	4																																																			
用途	回数																																																			
鑑賞	27																																																			
飲食	0																																																			
物販	49																																																			
参加	4																																																			
展示	1																																																			
用途	回数																																																			
鑑賞	20																																																			
飲食	7																																																			
物販	2																																																			
参加	5																																																			
展示	2																																																			
イベント実施回数【回】	112回	67回	81回	36回																																																

を「広場的」、10.7%より大きい公共空間を「通りの」と定義した⁴⁾。次に、頭上が覆われていない「屋外空間」と屋根・庇等に頭上が覆われている「半屋外空間」に分類した。以上より、公共空間をA～Dの4つのタイプに分類した(表2)。

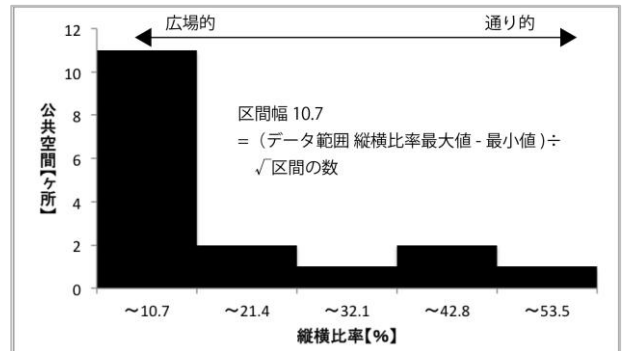
3-3 空間特性からみる公共空間利活用の傾向

空間特性ごとの利活用の用途の傾向を表2に示す。

イベント実施回数を見ると、【タイプA 半屋外の広場的空間(以下、タイプA)】112回と最多である。次いで【タイプC 半屋外の通りの空間(以下、タイプC)】が81回と、屋根・庇等に覆われている空間の利活用頻度が高い。これは、【タイプA】と【タイプC】共に屋根に覆われているため、気候に関わらずイベント開催ができることが要因と考えられる。

【タイプA】では、他のタイプと比較して「鑑賞型イベント」が51回、「参加型イベント」が28回と、最も多く実施されている。ハード設備^{注4)}の設置において、気候に左右されず、十分なスペースが必要であるため、半屋内の広場的空間が選ばれやすいと考えられる。

【タイプC】では、他のタイプと比較して「物販型イ



イベント」が49回と、最も多く実施されている。看板や商品等が店舗前に設置されているため、店舗前に机等を配置して既成品を販売する「物販型イベント」のみの実施が多いと考えられる。

【タイプB 屋外の広場的空間（以下、タイプB）】と【タイプD 屋外の通りの空間（以下、タイプD）】では、【タイプA】と【タイプC】に比べて、「飲食型イベント」が多く実施されている。これより、「飲食型イベント」は、調理に使用する火器類の取扱いを考慮し、屋外空間が選ばれやすいと推察できる。

【タイプB】は、「鑑賞型イベント」「飲食型イベント」「物販型イベント」が比較的同じ頻度で実施されている。この空間は、複数の道路に面しており、歩行者が多方面から通り抜ける。そのため、イベント内容や実施時間帯が限定されない、自由なイベントが実施される傾向にある。

【タイプD】の空間は、車道空間と歩行者空間が存在するため、イベント実施が難しい空間である。しかし、「道路占用許可の特例」を活用し、車道空間にステージや音響機材等のハード設備を設置した「鑑賞型イベント」の実施が多いと考えられる。

4. ケーススタディからみる空間利活用の分析

4-1 継続的利活用の抽出

公共空間が継続的にどのように利活用されているかを把握するため、空間特性のタイプごとに、同じ公共空間内で年間2回以上行われている事例を集計した

表3より、継続的に利活用されている公共空間は、7ヶ所であることが確認できた。本研究では、1つの公共空間で多様な利活用用途が含まれる【タイプD】④中央通りの＜大分市中央通り歩行者天国（以下、歩行者天国）＞をケーススタディの対象とする。このイベントは、平成28年より、回遊性の向上、滞在時間の延長を図り市内外からの来街者の増加につなげ、魅力ある中心

表3 継続的利活用事例

区分	公共空間	利活用用途	イベント件数	実施回数
タイプA	②JR大分駅北口広場 ⑩ガレリア竹町ドーム広場	鑑賞型イベント	1	2
		鑑賞型イベント	2	12
		物販型イベント	1	7
		参加型イベント	1	2
タイプB	③大分いこいの広場 ⑩ふないアクアパーク	鑑賞+飲食+物販+参加型イベント	1	2
		物販型イベント	2	5
		鑑賞+飲食型イベント	1	2
タイプC	⑤セントボルタ中央町 ⑩ガレリア竹町	鑑賞型イベント	1	17
		物販型イベント	4	39
		物販型イベント	1	8
タイプD	④中央通り	鑑賞+飲食+物販+参加+展示型イベント	1	4
計	7ヶ所		16	100

市街地を創造することを目的に実施されている。大分市中央通り歩行者天国推進委員会等が実施主体となり、年に2回程開催されている。

4-2 歩行者天国における空間利活用の変容

歩行者天国は、平成28年10月の第1回から、平成30年9月まで、計7回実施されている。このなかから、時期や実施時間が同じで、空間利活用の変化が確認できる4回^{注5)}について利活用用途、会場レイアウトを図5に整理した。

全ての回について、4つ以上のイベントが実施されている。「鑑賞型イベント」は、第2・5・6回で行われており、複数箇所で行われている。共通して、道路の南側と中央側に配置されている。これは、中央通り南側は駅からの歩行者、中央は、西側の商店街や東側の大規模商業施設からの歩行者の流れを作ろうとしていると考えられる。また、中央部分を見ると、第2回では椅子がなく、第5回では椅子40脚、第6回では畳50畳を設置している。これより、中央は、東西の人の流れを利用し、歩行者を滞留させる工夫がなされていることが分かる。

「物販型イベント」は、主に11ブース中9ブースが県内の自治体である（第3回）。また、参加する自治体数が、第3回の9自治体から第5回の14自治体に増加している。歩行者天国では、大分市だけでなく、県内市町村を含んだ、県全体で行うイベントとしても認知されつつあることが分かる。

市民が自由に利用できる「市民フリーゾーン」に注目すると、回を追うごとに面積が広がっている。また、利用団体数も第2回の10団体から、第6回は18団体に増加している。さらに「参加型イベント」は継続的に実施されており、市民自らが担い手となって楽しむ空間に需要があると推察できる。以上より、歩行者天国では、回を追うごとに、市民が自主的に参画できる空間創出をしようとしていることが分かる。

5. 総括

本稿では、大分市中心市街地における公共空間を対象に、空間特性を4つのタイプに分類することで、それぞれの利活用傾向を明らかにした。その結果、得られた知見を以下に記す。

1) 半屋外の空間【タイプA・C】は、利活用が多く実施されていることから、屋根・庇の有無が、利活用頻度に関係していることが分かる。

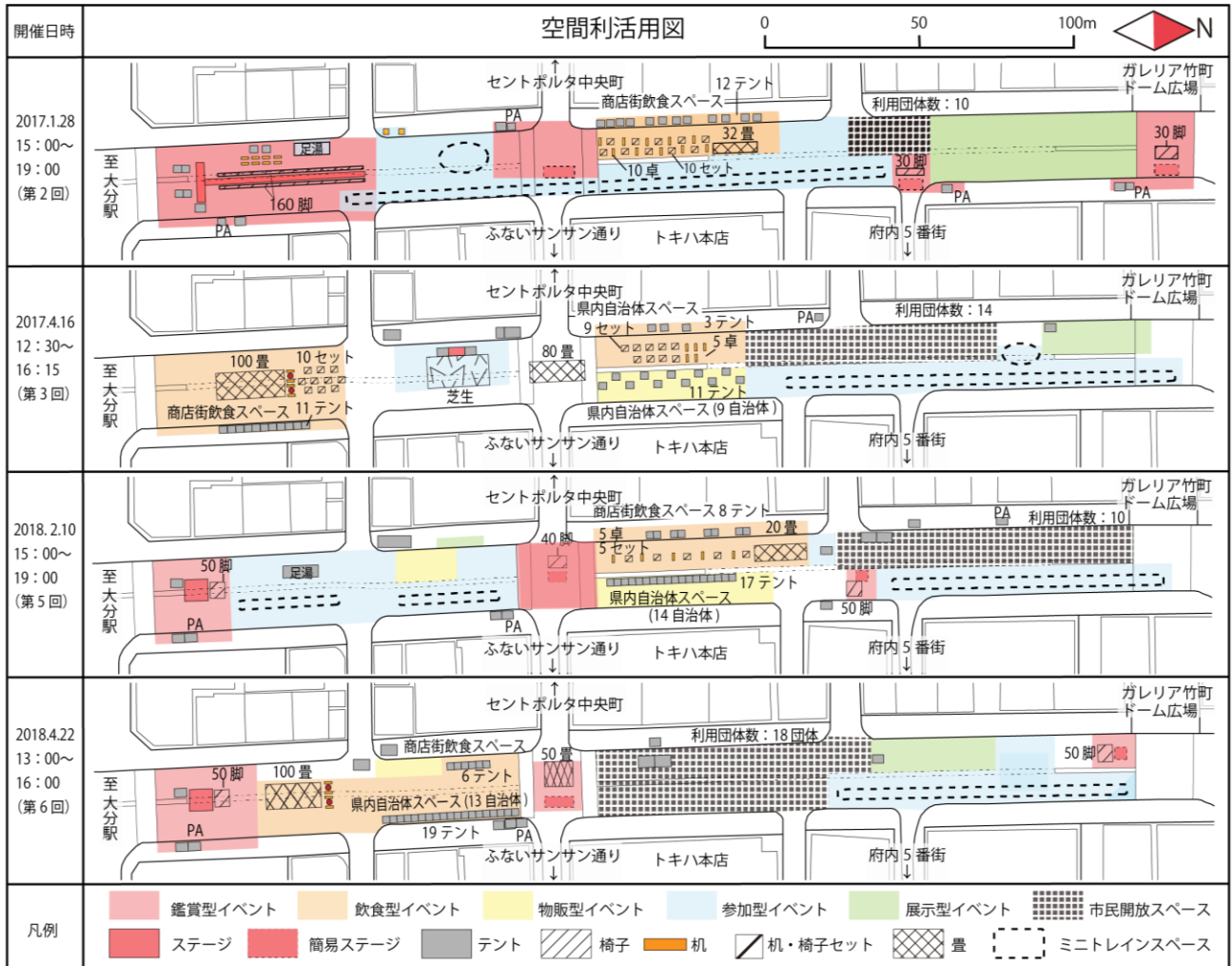


図5 大分市中央通り歩行者天国の空間利活用の変容

- 2) 半屋外の広場的空間【タイプA】は、「鑑賞型イベント」「参加型イベント」、半屋外の通りの空間【タイプC】は、「物販型イベント」が多く実施されており、イベント内容が異なる。これより、利活用実施に必要な面的な広がりイベント内に関係している。
- 3) 屋外の広場的空間【タイプB】では、「鑑賞型イベント」「飲食型イベント」「物販型イベント」が同頻度で実施されており、建物が隣接しない空間は、イベントの汎用性があると考えられる。
- 次に、歩行者天国における空間利活用の変容から、公共空間利活用を促進するための要件を考察する。
- 4) 「鑑賞型イベント」の椅子や畳の配置から、駅や商店街、大規模商業施設からの歩行者の流れを作り、滞留させる工夫がなされていることが分かる。これより、ハード設備の配置の変化により、多様な空間

- 利活用を創出することが可能である。
- 5) 「参加型イベント」や市民が自由に利用できる空間が、継続的に確保されている。これより、市民自らが、積極的に利用できる空間が必要である。

【補注】

- 注1) セントボルタ中央町アーケード新設事業等の空間構成要素を増設している事業のことを指す。
- 注2) 特に第一期・第二期中心市街地活性化基本計画内の「大分駅土地区画整理事業」「大分駅付近連続立体交差事業」、第二期計画内の「大分駅北口駅前広場整備事業」「JR大分駅ビル整備事業」のJR大分駅を中心とする事業による都市空間の変化を指す。
- 注3) 2016年1月から2017年12月に実施されたイベントを収集した。
- 注4) 本研究の「ハード設備」とは、ステージやテント、音響設備等イベントに必要な設備に限らず、椅子・机等の家具も含む。
- 注5) 第2回第3回第5回第6回の計4回である。
- 【参考文献】
- 1) 日本都市計画学会「都市計画 特集：使われる公共空間」, 都市計画, Vol. 64 No. 5, 2015.10
 - 2) 今後の共助による地域づくりのあり方検討会「今後の共助による地域づくりのあり方検討会 とりまとめ」, 平成30年3月
 - 3) 柴田久「地方都市を公共空間から再生する 日常のにぎわいをうむデザインとマネジメント」, 2017
 - 4) 吉田弥生, 姫野由香「公共空間の形態や心象評価の関係に関する研究」大分大学工学部福祉環境工学科建築コース卒業論文, 2016.3
 - 5) 泉山聖威, 中島伸, 小泉秀樹「公共空間活用における参加型社会実験手法としての神田警察通り賑わい社会実験 2017 の成果と課題」

*1 工学博士大分大学大学院工学研究科博士前期課程
 *2 大分大学理工学部創生工学科 助教 博士 (工学)
 *3 大分大学工学部福祉環境工学科 学部生

*1 Undergraduate Student, Oita Univ.
 *2 Research Associate, Dept. of Architecture, Faculty of Eng, Oita Univ. Dr.
 *3 Graduate Student, Oita Univ.